

創立八十周年に向けて

来年、平成二十九年で創立八十周年を迎える本校の歴史は、昭和十二年、香川県琴平実科高等学校の発足から始まり、昭和二十三年の学制改革により香川県立琴平高等学校となり、その翌年には男女共学となりました。その間にも定時制課程、十郷分校、造田分校、美合分校も設置され、勤労青年教育にも力を入れてきました。現在までに本校、分校を巣立った卒業生は20,000名を超え、地元はもちろん、日本、さらには海外においても活躍されています。

創立八十周年を迎えるに当たり、同窓生や在校生とその保護者等、関係者の中から同窓会が中心となった記念事業計画が提案され、昨年度より創立八十周年記念事業実行委員会等で協議を重ねた結果、記念式典・記念講演の開催、記念誌の発刊のほか、体育館の緞帳を新調していただくこととなりました。この緞帳は、『象頭山の明星に』と題し、校歌の歌詞から想を得て、静かで詩的な光景の緞帳にしています。象頭山・明けの明星・自然の美しさ・たなびく雲に満ちた湖(うみ)のさざ波もイメージに重ねて荘厳な印象を取り入れています。

記念式典は、平成二十九年十一月十一日(土)に本校体育館において開催され、記念講演は、本校卒業生である映画監督 本広克行氏を招いてのトークショーを予定しています。また、本広氏以外にも各界で活躍されている卒業生を招き、二十九年度の六月頃より、「先輩講演会」と題した講演会を数回開催する予定です。なお、緞帳新調によってその役目を終える創立五十周年記念事業で寄贈いただいた緞帳については、額装(AIサイズ)をし、校内に展示する計画を進めています。

来年の創立八十周年記念事業に対する募金活動が、同窓会を中心にこの十一月より始まります。本校に対する深いご理解とご協力をいただき、実り多い創立八十周年事業としてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。



創立70周年記念式典(H19.11.15)

★ 琴 高 通 信

第18号

編集発行

香川県立琴平高等学校
香川県 仲多度郡
琴平町 142-2
電話 0877(73)2261

地域で学び

地域で育つ琴高生

校長 山本 恵三



秋も一段と深まり日だまりが恋しい季節となりました。地域の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私は、今年度で琴平高校赴任三年目となります。今年度も昨年度に引き続き、地域との連携を本校の教育の基本方針の一つとして掲げ、「地域で学び地域で育つ琴高生」実現のための取り組みを行っています。昨年度末には、生徒たちの地域での奉仕活動やボランティア活動の様子を、年間を通してカレンダーのかたちでまとめたリーフレット「琴高ふれあいダイアリー」を作成し配布いたしました。生徒たちが地域の皆様との関わりの中で成長していくように、琴平高校も地域との連携を通して成長していきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

また、部活動もまた本校の教育活動を支えるもの一つで、部活動を通しての人格形成が生徒たちの成長の芯の部分になっていくと考えています。運動部では、今年度も、なぎなた部や剣道部が全国高校総体に出場したのをはじめ、文化部では、郷土芸能同好会やとらすとKなどが本校の特色ある部活動として、様々な場面で活躍しています。どうぞこの「琴高通信」をご覧いただき、これまで以上に琴平高校と琴平高校生を応援していただきたいと思います。

全国高校総体 なぎなた部“団体5位”



なぎなた部は6月5日に行われた県総体において、団体戦で優勝し、34連覇を成し遂げました。また、演技の部では森・高家が優勝、大野・秋山ペアが2位、鎌田・岩崎ペア、近石・山下ペアが3位、個人試合では、岩崎が優勝、鎌田が2位、大野、高家が3位という成績を収め全種目でインターハイ出場を決めました。8月5日〜7日に山口県立

紙面の紹介

- 一面 ◆ なぎなた部 全国高校総体団体5位、高P連(中四国大会)
- 二面 ◆ 地域で学び地域で育つ琴高生、部活動の戦績と紹介
- 四面 ◆ 創立八十周年に向けて、琴高ふれあいダイアリー紹介

高P連(中四国大会)

7月15日(金)、高松市のレクザムホールにて、第58回中国・四国地区高等学校PTA連合大会が開催されました。研究協議では香川県を代表して琴平高校が発表を行いました。村岡善邦PTA会長から、「被災地交流を通して」と題して、「琴高ボランティアヒストリー」のビデオ紹介がありました。その活動の一つである阪神淡路大震災をきっかけに結成され、東日本大震災、熊本地震の各被災地の人との交流を行う「とらすとK(K=神戸と琴平、とらすと=信頼)」の活動とPTAの協力についての発表に対して、素晴らしい取り組みであると多くの方々から賞賛の言葉を頂きました。



この大会の高校生による発表では、琴平高校なぎなた部による「リズムなぎなた」が観客を魅了しました。軽快な音楽に合わせた一糸乱れぬ演技で、参加者全員に大きな驚きと感動の波を広げ、大会に爽やかな花を添えました。

琴高ふれあいダイアリー

Kotoko Friendship Diary 2015

「琴高ふれあいダイアリー」を昨年度末に発行いたしました。琴高生のボランティア活動等を時系列・カレンダー形式のリーフレットにまとめたものです。年間を通じて、本校生と地域がどのように関わっているかが一目でわかる一冊です。ぜひ一度、手に取ってご覧ください。ご入用の方は、必要部数を学校に言ってくださいましたら、ご用意させていただきます。



地域で学び、地域で育つ琴高生

琴高祭

9月10日(土)、今年も琴高祭が開催されました。今年度はInfinity無限の華よ青春を舞い踊れ〜のテーマのもとに行われました。当日は好天に恵まれ大変多くの方々が来場いただきました。各クラス、団体、文化部の工夫を凝らした展示、デイズニーキャラクターの張りぼてや壁画をはじめ、冷たい飲み物やデザートのパザール、吹奏楽部や郷土芸能、演劇部などの公演に注目が集まっています。



今年もPTAの評議員さんを中心に、琴高祭でPTAパザールが行われました。煙と汗に包まれながら一生懸命に焼きそば、焼き鳥、チキンナゲットなどを調理して下さいました。販売は生徒達が行い大変大盛況となりました。



剣道部

6月4日、6月5日に行われた県総体にて、男子は村上聖彦選手が個人優勝、女子は団体優勝、個人では福田彩夏選手が優勝し、岡山県岡山市で行われるインターハイ出場を決めました。8月2日〜5日にジップアリーナ岡山でおこなわれたインターハイでは女子団体は初戦から激しい試合となりましたが惜しくも敗れ勝ち進むことができませんでした。また男子個人は1回戦敗退、女子個人は2回戦敗退でしたが香川県代表選手として健闘しました。



放送部

7月25日〜27日まで東京の国立オリンピック記念青少年総合センターでの「NHK杯全国高校放送コンテスト」と8月1日〜3日まで広島国際会議場での「2016ひろしま総文祭」の放送(朗読)部門に参加させて頂き、全国から集まった放送部員の発表に大きな刺激を受けました。特に広島での特別審査員の大林宜彦監督の「表現とは平和を願うこと」という話に感激しました。



野球部

4月より野球部監督に就任した山本です。琴平高校野球部は「戦必勝」を目標に、日々練習に励んでいます。就任1年目は上位進出とはなりませんでしたが、この冬、心技体を鍛えあげ、春・夏は香川県中を驚かせるような結果を残したいと思っています。応援よろしくお願いします。



卓球部

卓球部は今年度から新監督として卓球を専門とする顧問松山先生のもと、日々練習に励んでいます。指導者としての経験はまだ浅いですが、生徒とともに練習し、先頭に立つて指導していこうと考えています。県内試合ではランク入りを目指し、また技術だけでなく生徒が人間的に成長できるようにサポートしたいと思います。



サッカー部

「ひたむきに、泥くさく、全力で！」の部訓を胸に、3年生15人、2年生9人、1年生19人の計43人が石川監督の指導のもと、いこいの郷のサッカーグラウンドで全国大会出場を目指して毎日練習しています。サッカーの技術・体力だけでなく、挨拶マナー、ボランティア活動にも積極的に取り組んで豊かな人間性を育む努力を続けています。



バレーボール部

女子バレーボール部は、部活動を通して、技術の向上はもちろんのこと、人間力を高めるために日々活動しています。「勝利を引き寄せる10の習慣」の一部を紹介します。

- 「ごみを拾う」
- 「相手を笑顔にさせる挨拶をする」
- 「相手の目を見て話を聞く・話す」

「明るく元気に」をモットーに、人から愛される、人から応援される集団を目指します。

- 〈平成28年度試合結果〉
- 春季西讃大会 ベスト8
 - 県総体 2回戦敗退
 - 後藤杯 1回戦敗退



郷土芸能同好会

毎年10月10日前後に、金刀比羅宮例大祭(おとうか)の関連行事として踊りを奉納しています。3年生から2年生に部が引き継がれていくのが公演となるので、かなりの緊張感の中演技することになります。成長めまぐるしい1年生とともに、全力でのぞみます。これからの舞台でもさらにチームワークを活かして演技内容を充実させていきたいと考えています。



進路見学会

将来の進路に目を向け、目的意識を持つて高校生活に取り組ませようと、1・2年生を対象に進路見学会を行いました。希望進路に応じて企業や大学、短大、専門学校を訪問して、施設・設備を見学したり、授業や実習の体験をしました。実際に聞き取りすることで多くの情報が得られたと思います。就職希望者は午前中に就職セミナーもあり、得るものが多い1日となりました。

書道部(書道パフォーマンス) 琴平高校書道部は作品制作だけでなく、書道パフォーマンスも楽しく取り組んでいます。普段の部活動ではコンクールや作品展に向けて一生懸命制作していますが、パフォーマンスの練習も積極的に行っています。書道パフォーマンスでは地域の方との交流が深められ、常に達成感を感じています。今後も部員一人ひとりが成長して、より良い演技ができるように頑張ります。

